

第4章 市営霊園利用者アンケート調査

1. 調査の概要

- ・目的 : 利用者の墓地の使用状況、維持管理への要望、管理料制度への意見、無縁墓対策に関する意見などを把握するために実施した。
- ・対象者 : 札幌市が管理運営する平岸霊園、里塚霊園、手稲平和霊園の3霊園の利用者500名。
- ・調査期間 : 令和5年12月4日(月)発送～12月25日(木)回収締切
- ・調査方法 : 郵送配布・郵送回収式調査
- ・回収数、率 : 回収数162票、回収率32.4%

■以降の凡例・注記

- ◎各図表で示す回答者数は、非該当者(その設問に答える必要のない方)、「無回答除く」の記載があるものについては無回答者を除いた数であるため、回収数以下になる。
- ◎単一回答の設問では、表記の割合は選択肢ごとに小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ◎複数選択可の設問では、表記の割合の合計は100%を超える。
- ◎クロス集計表の数値は表側〔行〕に対する%。各行ごとに最も高い割合のセルは濃い青、2番めは水色、3番めは薄い水色を着色している。

2. 調査結果

分析においては、全体集計のほか、全設問について年齢別、世帯構成別、使用霊園別にクロス集計を行った。

これらを踏まえて、全体集計に加えて、統計上あるいは政策検討上有意と考えられる差異が見られたクロス集計結果について記載している。

(1) 回答者の属性

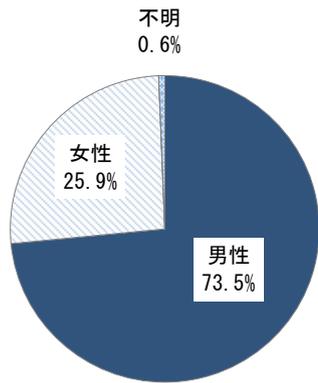
問 14 あなたご自身のことについてお答えください（いずれも○は1つだけつけてください）										
(1) 性別										
1. 男性			2. 女性			3. その他				
(2) 年齢										
1. 10代		2. 20代		3. 30代		4. 40代		5. 50代		
6. 60代			7. 70代以上							
(3) 居住区										
1. 中央区		2. 北区		3. 東区		4. 白石区		5. 厚別区		
6. 豊平区		7. 清田区		8. 南区		9. 西区		10. 手稲区		
11. 札幌市外										
(4) 世帯構成										
1. 一人暮らし			2. 自身と配偶者			3. 自身と配偶者と子ども				
4. 自身と子ども			5. 自身と親			6. 自身と配偶者と親				
7. 三世帯同居			8. その他 ()							

回答者の性別は男性が73.5%と回答者の約4分の3を占めた。これは、市営霊園の申し込みを世帯主が行うこととなっているためだと考えられる。

年齢は70代以上が半数以上(53.7%)を占めた。60代が29.6%、50代以下が16.0%であった(40代以下は5.6%と少数であったため、50代以下として分析)。

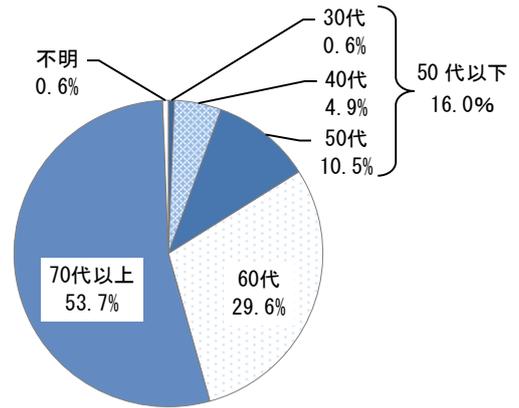
世帯構成は「自身と配偶者」が43.2%で最も多く「一人暮らし」が38.5%、「自身と配偶者と子ども」17.3%と次ぐ。

1) 性別



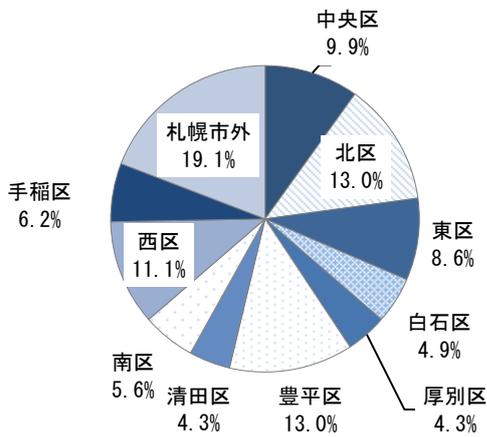
(1つだけ選択、回答者数=162)

2) 年齢



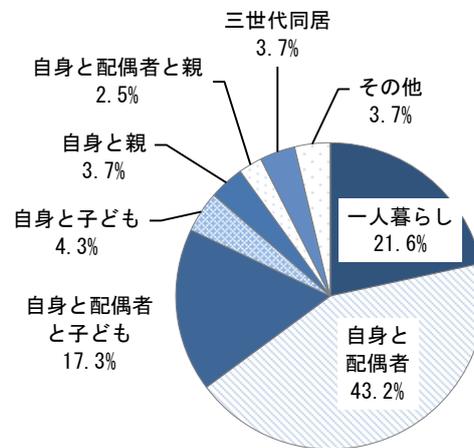
(1つだけ選択、回答者数=162)

3) 居住区



(1つだけ選択、回答者数=162)

4) 世帯構成



(1つだけ選択、回答者数=162)

(2) 火葬場・墓地の問題に対する関心

1) 多死社会の到来による諸問題に対し札幌市で行っている取組への認知度

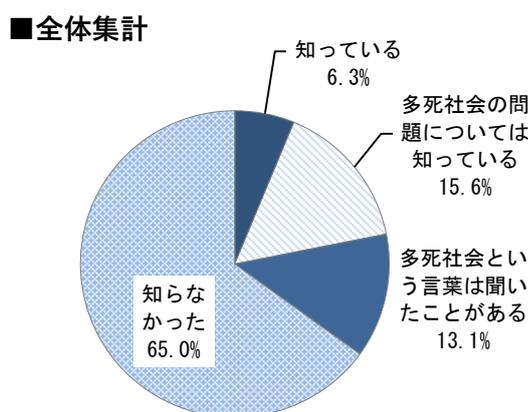
問 1 (1) あなたは多死社会の到来による諸問題に対し、札幌市で行っている取組についてご存じですか。(1つだけ○をつけてください)

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 知っている | } ⇒問 1 (2) へ |
| 2. 多死社会の問題については知っている | |
| 3. 多死社会という言葉は聞いたことがある | |
| 4. 知らなかった ⇒ 問 2 へ | |

全体集計では「知らなかった」が65.0%と約7割であった。

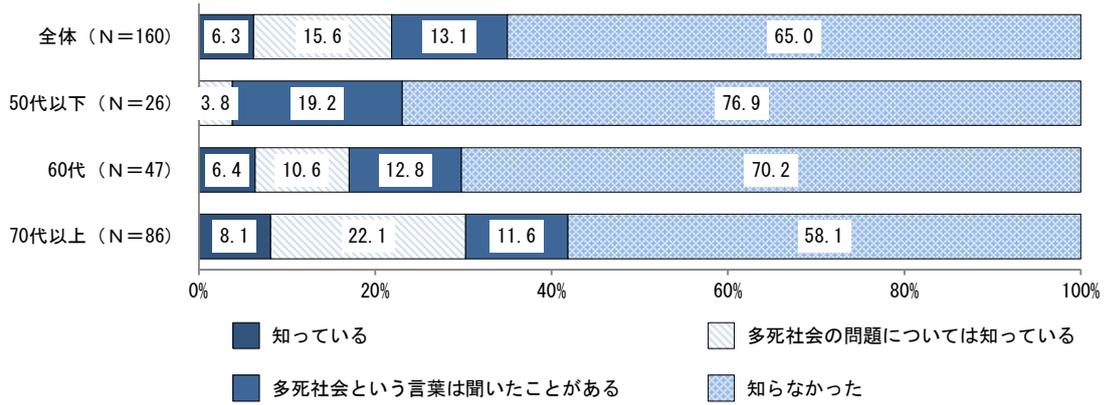
年齢別では、「知らなかった」と回答した人の割合は年齢が低くなるほど高く、多死社会について何らかの知識がある(「知っている」「多死社会の問題については知っている」「多死社会という言葉は聞いたことがある」)人の割合は低い傾向にある。

世帯構成別で「知らなかった」の割合は、単身世帯(一人暮らし)では82.9%と8割を超えた一方、夫婦世帯(自身と配偶者)では57.4%と6割弱と、大きな差が見られた。



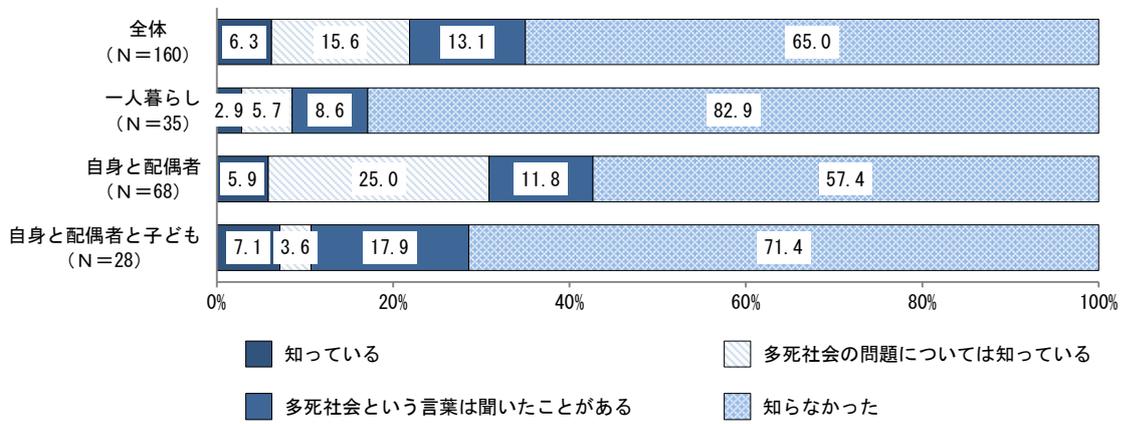
(1つだけ選択、回答者数=160、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

■世帯構成別



(1つだけ選択、回答者数が10人以下の世帯構成は表示せず、無回答除く)

2) 多死社会という言葉や札幌市の取組を知ったきっかけ

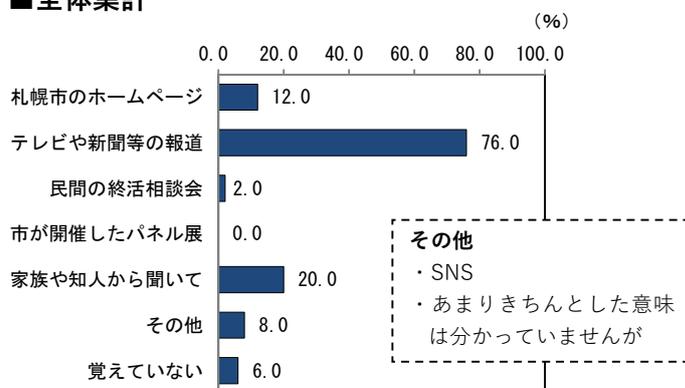
≪問1(1)で「4.知らなかった」と答えた方以外の方にお聞きします。≫

問1(2) あなたは多死社会という言葉や札幌市の取組などを、どこでお知りになりましたか。
(いくつでも○をつけてください)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 札幌市のホームページ | 2. テレビや新聞等の報道 |
| 3. 民間の終活相談会 | 4. 市が開催したパネル展 |
| 5. 家族や知人から聞いて | 6. その他 () |
| 7. 覚えていない | |

全体では「テレビや新聞等の報道」が76.0%と突出して多かった。
属性別では、有意な差は見られなかった。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=50、無回答除く)

(3) 市営霊園の利用状況

1) 使用許可を得ている霊園と墓地の面積

問2 あなたが使用許可を得ている霊園はどれですか。墓地の面積も併せてお答えください。(1つだけ○をつけてください)

1. 平岸霊園 (m²) 2. 里塚霊園 (m²) 3. 手稲平和霊園 (m²)

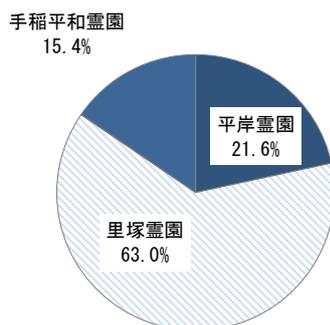
里塚霊園を使用している人が63.0%と過半数を超えた。

使用している墓地の面積は、平岸霊園では2~3.3 m²が最も多く47.1%であった。里塚霊園では4 m²が36.1%、5~6.6 m²が31.9%とこれらで約7割を占める。手稲平和霊園では4~5 m²が最も多く46.2%であった。

なお、霊園ごとに回答者の年齢を分析したところ、手稲平和霊園では76.0%が70代以上となっており、平岸霊園(57.1%)、里塚霊園(47.5%)と大きな差が見られた。

また、霊園ごとに回答者の世帯構成を見ると、手稲平和霊園のみ夫婦世帯(自身と配偶者)が56.0%と半数を超えていた。

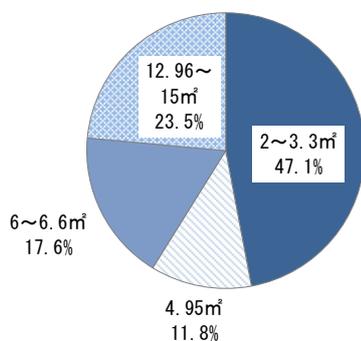
■使用許可を得ている霊園



(1つだけ選択、回答者数=162)

■使用している墓地の面積

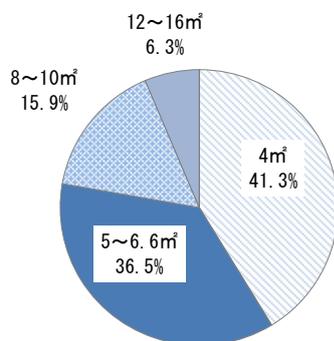
<平岸霊園>



最大値	15
最小値	2
平均値	6.4
中央値	4.95

(回答者数=17)

<里塚霊園>

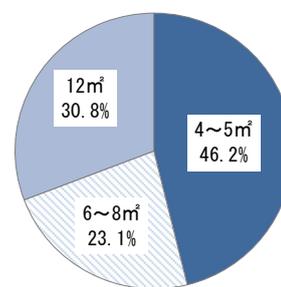


最大値	16
最小値	4
平均値	6.0
中央値	6

(回答者数=63)

(いずれも数値回答、無回答除く)

<手稲平和霊園>



最大値	12
最小値	4
平均値	7.2
中央値	6

(回答者数=13)

■使用霊園×年齢

	50代以下	60代	70代以上
全体 (N=161)	16.1	29.8	54.0
平岸霊園 (N=35)	14.3	28.6	57.1
里塚霊園 (N=101)	18.8	33.7	47.5
手稲平和霊園 (N=25)	8.0	16.0	76.0

(1つだけ選択、無回答除く)

■使用霊園×世帯構成

	一人暮らし	自身と配偶者	自身と配偶者と子ども	自身と子ども	自身と親	自身と配偶者と親	三世代同居	その他
全体 (N=162)	21.6	43.2	17.3	4.3	3.7	2.5	3.7	3.7
平岸霊園 (N=35)	28.6	28.6	22.9	8.6	-	2.9	2.9	5.7
里塚霊園 (N=102)	20.6	45.1	18.6	2.0	4.9	2.9	3.9	2.0
手稲平和霊園 (N=25)	16.0	56.0	4.0	8.0	4.0	-	4.0	8.0

(1つだけ選択、無回答除く)

2) 墓参りの頻度

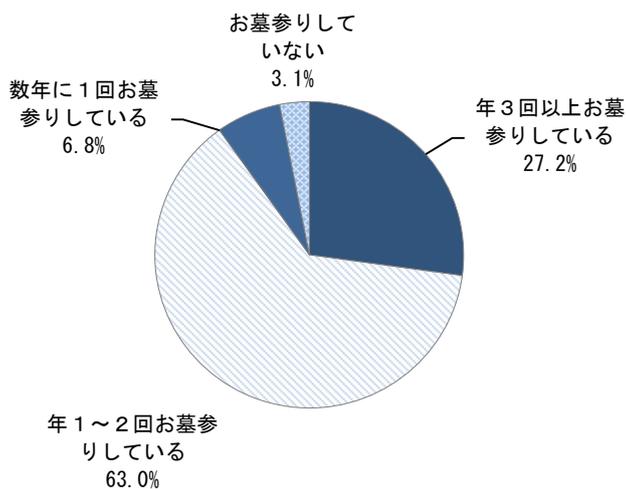
問3 (1) あなたが市営霊園へのお墓参りをする頻度についてお答えください。(1つだけ○をつけてください)

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 年3回以上お墓参りしている | } ⇒ 問4へ |
| 2. 年1～2回お墓参りしている | |
| 3. 数年に1回お墓参りしている | |
| 4. お墓参りしていない | ⇒ 問3(2)へ |

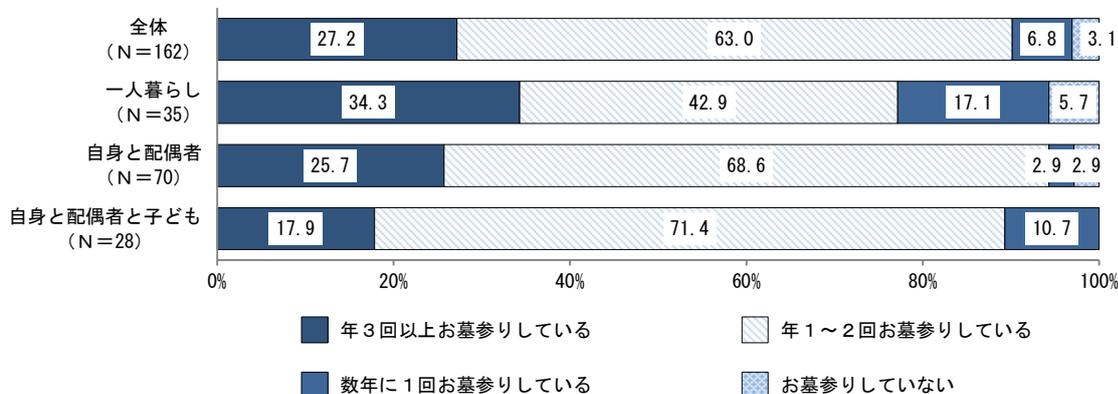
全体集計では「年1～2回お墓参りしている」が最も多く63.0%であった。

世帯構成別を見ると、単身世帯(一人暮らし)で「年3回以上お墓参りしている」の回答率が34.3%と、他の世帯構成よりも高くなっている一方、あまり墓参りをしていない人(「数年に1回お参りをしている」「お墓参りしていない」回答者)の率(計22.8%)も他の世帯構成よりも高くなっている。単身世帯では比較的多く墓参りをする層と、あまり墓参りをしない層に2極化していると言える。

■全体集計



■世帯構成別



(1つだけ選択、回答者数が10人以下の世帯構成は表示せず、無回答除く)

3) 墓参りしていない期間

「問3(1)で「4. お墓参りしていない」と答えた方にお聞きします。」

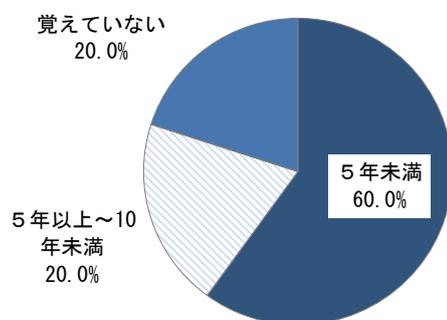
問3(2) あなたが、お墓参りしていない期間は何年くらいですか。(1つだけ○をつけてください)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上～10年未満 | |
| 3. 10年以上～15年未満 | 4. 15年以上 | 5. 覚えていない |

回答者は5人であった。これらの回答者のうち「5年未満」との回答者は3名(60.0%)、「5年以上～10年未満」「覚えていない」回答者が各1人(20.0%)であった。

回答者数が少ないため、属性別で有意な差は検出できなかった。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=5)

(4) 市営霊園のサービス向上

1) 市営霊園の空き区画の活用方法

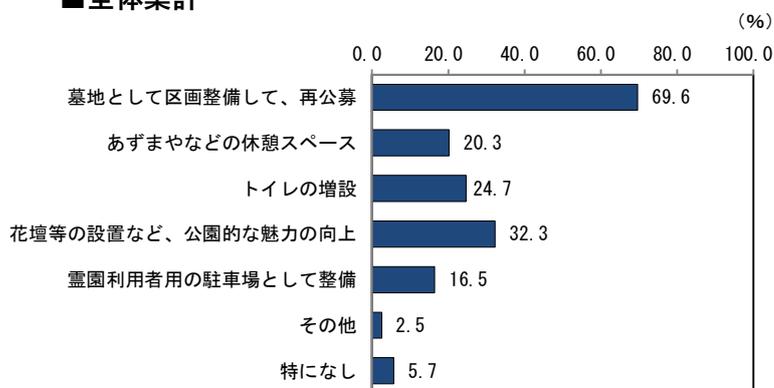
問4 あなたは、市営霊園の空き区画をどのように活用するのがいいと思いますか。(いくつでも○をつけてください)

1. 墓地として区画整備して、再公募
2. あずまやなどの休憩スペース
3. トイレの増設
4. 花壇等の設置など、公園的な魅力の向上
5. 霊園利用者用の駐車場として整備
6. その他 ()
7. 特になし

全体集計では「墓地として区画整備して、再公募」が最も多く 69.6%であった。以下、30ポイント以上の差をつけて「花壇等の設置など、公園的な魅力の向上」(32.3%)、「トイレの増設」(24.7%)、「あずまやなどの休憩スペース」(20.3%)と続く。

属性別では、有意な差は見られなかった。

■全体集計



その他

- ・合葬墓、無縁墓の設置
- ・坂がある場所は車椅子が登れるようにスロープを設置する
- ・共同墓地(樹木葬等)、メモリアルホール等
- ・ゴミ箱

(複数選択可、回答者数=158、無回答除く)

2) 墓所区画整理への協力意向

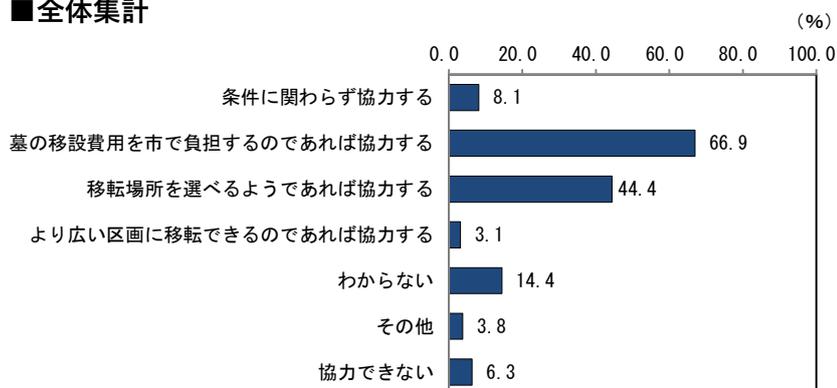
問5 霊園の利便性を向上させるために墓所の区画を整理する必要が生じた場合、あなたは現在使用している墓所の移転にご協力いただけますか。(いくつでも○をつけてください)

1. 条件に関わらず協力する
2. 墓の移設費用を市で負担するのであれば協力する
3. 移転場所を選べるようであれば協力する
4. より広い区画に移転できるのであれば協力する
5. わからない
6. その他 ()
7. 協力できない

全体集計では「墓の移設費用を市で負担するのであれば協力する」が最も多く 66.9%、「移転場所を選べるようであれば協力する」が2番めに多く 44.4%であった。

使用霊園別にみると、他の霊園利用者に比べて里塚霊園利用者で「移転場所を選べるようであれば協力する」の割合が約半数(49.5%)と高くなっている。

■全体集計



その他

- ・現在の形状で墓を移設するのであれば協力する
- ・2年後に墓じまいの予定
- ・墓じまいを検討するかも
- ・合葬墓
- ・協力できないときもある
- ・現在の場所を使いたい

(複数選択可、回答者数=160、無回答除く)

■使用霊園別

	条件に関わらず協力する	墓の移設費用を市で負担するのであれば協力する	移転場所を選べるようであれば協力する	より広い区画に移転できるので	わからない	その他	協力できない
全体 (N=160)	8.1	66.9	44.4	3.1	14.4	3.8	6.3
平岸霊園 (N=34)	5.9	52.9	38.2	5.9	20.6	-	14.7
里塚霊園 (N=101)	5.9	69.3	49.5	1.0	12.9	5.9	5.0
手稻平和霊園 (N=25)	20.0	76.0	32.0	8.0	12.0	-	-

(複数選択可、無回答除く、単位は%)

3) 市営霊園の維持管理・設備等に関する要望

問6 市営霊園の維持管理・設備等に関するご要望がございましたらご記入ください。

トイレの整備

- ・トイレの整備（水洗等）（60代男性、里塚霊園使用）
- ・トイレの改修（70代以上男性、手稲平和使用）
- ・トイレが不衛生で使用したくない（60代男性、里塚使用）

鳥獣害対策

- ・最近熊の出没が考えられるため、霊園の周りの高い草を刈っていただきたい（70代以上男性、手稲平和使用）
- ・鳥獣害減少の為、開閉式のゴミ集積所の増設（60代男性、里塚使用）
- ・クマが心配（50代女性、手稲平和使用）

合葬墓等の整備

- ・墓じまい希望者への対策として共同墓地を創設し移転してもらおう（60代男性、里塚使用）
- ・樹木葬、永代供養等の施行が可能であろうか（60代男性、里塚使用）

その他の設備

- ・休憩スペースが全く足りません（60代男性、里塚使用）
- ・ゴミ箱を多く設置してほしい。同じ場所に2個など。特にお盆の時期（70代以上男性、里塚使用）
- ・通路の舗装、草が生えて傷みが激しいところがある。維持管理の不足がある（60代男性、里塚使用）
- ・より過ごしやすい環境を整えていただければと思います（60代男性、手稲平和使用）

現状で良い

- ・別に不便なことは無いので、現状が良いのではないかと（70代以上男性、手稲平和使用）
- ・今までの維持管理で良いと思います（70代以上男性、手稲平和使用）

その他

- ・市が所有者の管理を適切に行う。年数を決めて（10～15年）連絡が無い場合は処分対象とする（70代以上男性、平岸使用）
- ・管理室の充実。人数を増やして対応がしっかりできる人を希望する（70代以上男性、里塚使用）
- ・交通アクセスが悪いので便利にしてほしい（50代男性、里塚使用）

その他（霊園以外について）

- ・日本人として恥ずかしい真似は考えないよう切に願う（70代以上男性、里塚使用）
- ・私は生活費がやっとなです。両親は良かったが、主人はアスペルガーによってお金に関するすべてをなくしてしまったので（60代女性、手稲平和使用）

(5) 市営霊園の維持管理費用・料金制度

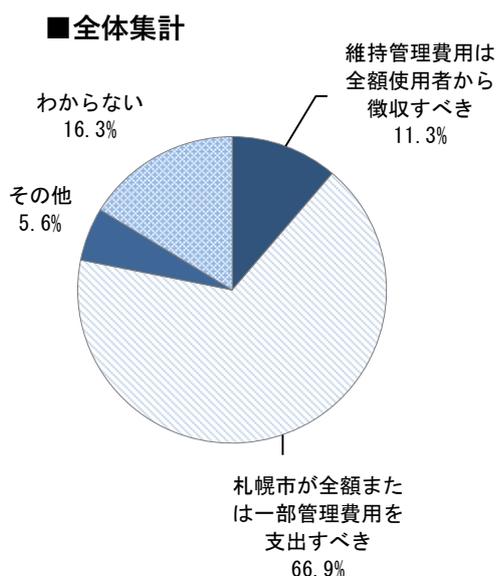
1) 維持管理費用に関する意見

問7 あなたは、市営霊園の維持管理費用を今後どうしていきべきと思いますか。(1つだけ○をつけてください)

1. 維持管理費用は全額使用者から徴収すべき
2. 札幌市が全額または一部管理費用を支出すべき
3. その他 ()
4. わからない

全体集計では「札幌市が全額または一部管理費用を支出すべき」と約7割(66.9%)の人が回答した。「維持管理費用は全額使用者から徴収すべき」は11.3%であった。

属性別では、有意な差は見られなかった。



その他

- ・無縁墓調査を進め再利用により収入を確保する
- ・質問が抽象的。無縁墓地の売却予定額、古くからの所有者と新規購入者にグラデーションをつけて市と所有者間で共同運営すべき
- ・墓地使用料を値上げする
- ・駐車場の有料化、道路わきにパーキングメーターをつける
- ・有識者を交えて十分議論する
- ・枯渇前に合同葬などにし規模を縮小。現状のままの方は使用者・市で支出

(1つだけ選択、回答者数=160、無回答除く)

2) 維持管理費用追加徴収に関する意見・要望

問8 (1) 市営霊園の維持管理は清掃だけではなく、樹木の伐採なども必要となっている実態に合わせ、清掃手数料の名称を変更し、使用開始から20年を経過している使用者から管理料として維持管理にかかる費用の追加徴収を検討しています。このことについて、ご意見やご要望がございましたらご記入ください。

※なお、現状の清掃手数料は、20年分として) m²あたり25,800円を一括でお支払いいただいております、) 年分に換算すると) m²あたり1,290円(4m²墓地の場合、5,160円)となりますが、実際の追加徴収額については、今後の維持管理費用を精査したうえで、変わる可能性があります。

<肯定的意見>が34件、<否定的意見>が22件、どちらでもない<賛否不明意見>が6件、計62件であった。

<肯定的意見(34件)>

賛成(8件)

- ・良いと思う(50代女性)
- ・管理料は必要と思います(70代以上男性)
- ・大いにすべき。無縁化を解消すべき(40代男性)
- ・請求されたら支払います(60代女性)
- ・追加徴収額決定し次第、早めに周知をお願いします(70代以上男性)
- ・追加徴収が公平と考えます(年齢不明男性)
- ・ある程度の使用者負担は必要だろうと思います(70代以上女性)
- ・使用者も管理料の一部を負担してはどうでしょう(70代以上女性)

条件付き賛成(11件)

- ・多額は無理ですが費用は負担します(70代以上男性)
- ・市営霊園の当初の募集時には、永年分を一括で支払っていますが、管理費用が大変であることは理解しました。永年の権利はあると思うので、こどもの負担を考えると一部負担と考えるのが必要と思います(60代男性)
- ・時代により諸費用はかかるので管理費用が上がる、あるいは徴収するのは妥当。ただし滝野霊園等と異なるのは市営であるので購入した人々が大半。今後は諸費用等適切に検討して市が徴収してください(70代以上男性)
- ・現状の20年一括1m²あたり25,800円の支払いであれば良いと考えるが、毎年縁石などが壊れていないにも関わらず無駄な公共事業が多すぎるので、節約できることは大いにすべきでこれらを財源にするべき(70代以上男性)
- ・維持管理費が使用者から徴収が必要になった場合は、20年を経過に関わらず全使用者から徴収すべきだと思います(70代以上男性)
- ・維持管理について、具体的費用を公表することで理解が得られると考えます。その上での追加

徴収には賛同します（60代男性）

- ・20年先まで生きていないので年数は少なくして（70代以上女性）
- ・内訳が明快であれば協力する（60代男性）
- ・20年ではなく平等に全区画からが良いのでは（60代男性）
- ・追加徴収については一括払いではなく分割徴収も認めてほしい（70代以上男性）
- ・全使用者から徴収すべき（50代女性）

やむを得ない・仕方ない（15件）

- ・維持費がかかることは仕方がないことで、ここまで長く利用でき、負担が発生していないことは有難いことでした（40代女性）
- ・一定の使用者負担は避けられないと思う（50代男性）
- ・現状で管理費の追加徴収はやむをえないが、市営であるので市の支援を柱に精査してほしい（70代以上男性）
- ・追加徴収はやむをえない（70代以上女性）
- ・維持管理をしていただいている以上、費用を納めることは仕方ないと思います（70代以上男性）
- ・ある程度の費用負担はやむを得ないと思います（60代男性）
- ・維持管理にかかる追加徴収は諸費高騰の折、やむを得ないと思う（70代以上女性）
- ・今後、追加徴収が決定されてもやむを得ないと思います（70代以上男性）
- ・維持管理費は霊園維持にはかかる費用と理解します。追加徴収は仕方ありません（60代男性）
- ・仕方ないと思う（60代男性）
- ・仕方がないと思う。ただ何年分追加徴収するのかはっきりしないのが不満（60代男性）
- ・やむを得ないと思います（50代男性）
- ・使用開始から20年経過しているのでやむを得ない（70代以上女性）
- ・やむを得ないと思う（70代以上女性）
- ・維持管理に必要な最低限の利用者の費用負担はやむを得ない（60代男性）

<否定的意見（22件）>

金銭的に厳しい・余裕がない（5件）

- ・管理料が必要なのはわかるが、追加はつらい。今後のお墓の在り方を考えている（60代女性）
- ・年金生活では追加徴収は厳しいです（70代以上男性）
- ・必要経費であることは承知していますが、墓地面積が広いので現在の我が家の経済事情からはとても厳しいものがあります（50代女性）
- ・現状、支払えるか分かりません。今の年金額で余裕はありません（60代女性）
- ・協力したいけど年金暮らしなので大変です（70代以上女性）

先に（他に）やるべきことがある（3件）

- ・費用の追加徴収の前にもっとできる事があるのではないかと？（40代男性）
- ・使用開始20年の使用者を調べるなら、逆に連絡が取れない無縁化している場所を再利用して敷

地を拓げるよりも、メールアドレスを3年くらいかけて登録してもらい、高齢によりメールが無い場合、ハガキで連絡を年1回くらいとれるよう整備していく方が良いと思う。今後人口が減少していくので、再利用地も増えると思う。入口に大きな看板等で周知したら皆さん見えるし、追加徴収より前に制度ついて整備が必要になってきていると思う（40代女性）

- ・まずは支出を抑える工夫が第一だと思います。今後の再公募の際には、墓地使用料を値上げし、その後、基金が枯渇した場合、維持管理費用を利用者に請求すべきだと思います（60代男性）

反対・無料・税金で負担（14件）

- ・第三セクター等に委託する。追加徴収はだめ（70代以上男性）
- ・見通しが甘かったのだから市が負担すべき。いらぬものがたくさんある（50代男性）
- ・追加徴収には反対（50代男性）
- ・今更と思う。無縁化は市の問題であり、対策をとってほしい。連絡取れる人のみが対応するのはおかしい。それなら土地は賃貸にすれば良い。買っているのだからその人の問題では（60代女性）
- ・管理費のかからない運営を望む（60代男性）
- ・年金生活の老人家庭では生活でいっぱい。とても負担額は無理です。オリンピック等と市民も反対の招致のために随分お金を使って、ほとんど市長の対応にはあきれています。もっと大事な税金を重要な事に使ってください。今の市政には絶対反対です（70代以上男性）
- ・墓地使用許可時に維持管理費用を一括支払っており、追加徴収は納得いかず反対である。必要最低限の維持管理は市の負担で行ってほしい。墓地の維持管理と無縁墓対策は次元の異なる問題である。無縁墓対策は使用者との連絡をいかに確保するのが問題であるが、それを善良に管理し使用している使用者の負担で行うのは筋が違う（70代以上男性）
- ・追加徴収には反対です（60代男性）
- ・反対です。市の負担で合同葬にするなら協力し、手数料を支払いのないようにしてほしい（50代男性）
- ・できるだけ税金等でまかなってほしい（60代男性）
- ・無料のままお願いします（50代男性）
- ・使用申込時に一括前納と判断しており、急な変更は対応に苦慮する。基本反対（70代以上男性）
- ・墓地所有者が高齢化している現在、年金生活者等、生活が厳しい人が多いと思うので、なるべく行政が対応して欲しい（70代以上男性）
- ・賄賂だらけのバツハのオリンピック誘致等、無駄な賄賂やバックを考えなければ良いだけの話（70代以上男性）

<賛否不明意見（6件）>

その他（6件）

- ・追加徴収の額は未定ではあるけれど、20年、30年が経過していると使用者は年金生活、低所得者の人がたくさんいると思われる。負担料は一律になるのだろうか。払えない場合はどうするのか（70代以上男性）

- ・音信不通者の墓地再利用をしてからなら考えてもよい（70代以上男性）
- ・富裕世帯から負担させる（年間所得〇〇〇万以上、〇〇〇万以下なら一部負担）（60代男性）
- ・現時点で支払っていない使用者から徴収すべきだと思います（70代以上男性）
- ・維持管理箇所の範囲と個人負担分と公園等の費用区分は必要では（70代以上男性）
- ・管理料の具体的な金額を提示してほしい（70代以上男性）

3) 管理料の徴収頻度

問8 (2) 管理料を定期的に徴収する場合、あなたは、どれくらいの徴収頻度がよいと思いますか。なお、管理料の徴収は、墓の無縁化防止に向けた利用者への定期的な連絡も兼ねております。(1つだけ○をつけてください)

- | | | |
|------------|----------|----------|
| 1. 毎年 | 2. 3年に1回 | 3. 5年に1回 |
| 4. その他 () | 5. わからない | |

全体集計では「毎年」が最も多く27.5%、以下「3年に1回」(18.3%)、「5年に1回」(17.6%)がほぼ同率であった。

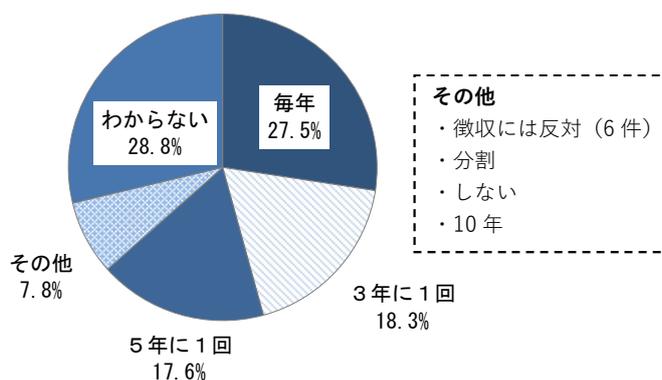
属性別では差異が見られた。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「毎年」との回答率が減り、「3年に1回」の割合が上がる傾向にある。特に50代以下で「3年に1回」との回答はわずか4.0%だが、70代以上で23.5%になっている。また「わからない」との回答率も年齢が上がるにつれ増えている。

世帯構成別では、特に単身世帯(一人暮らし)では「毎年」との回答が41.9%である一方、「3年に1回」「5年に1回」の合計がわずか9.7%であることが注目される。「わからない」との回答も約4割(38.7%)と多い。また、夫婦世帯(自身と配偶者)では「わからない」(26.9%)に次いで「3年に1回」が2番めに多くなっている(25.4%)。

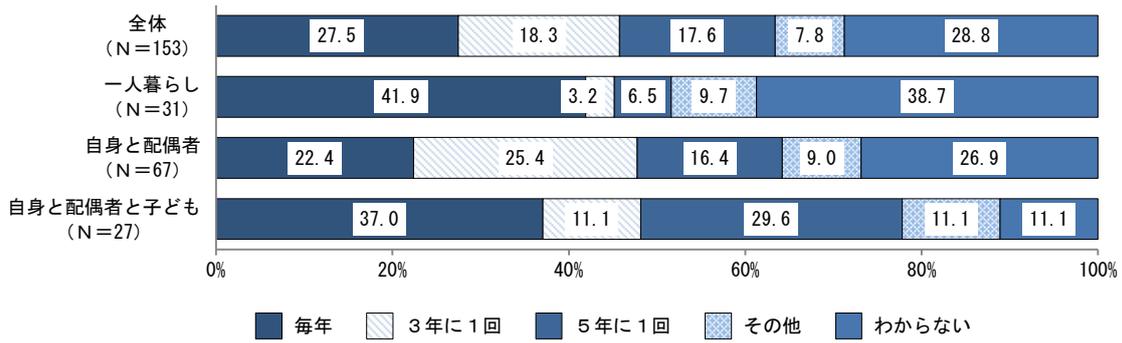
使用霊園別では、手稲平和霊園利用者で「3年に1回」との回答(36.0%)が最も多くなっているのが特徴的である。問2の集計結果で「手稲平和霊園を利用している」との回答者に比較的70代以上、夫婦世帯が多いことを見たが、それが影響していると考えられる。

■全体集計



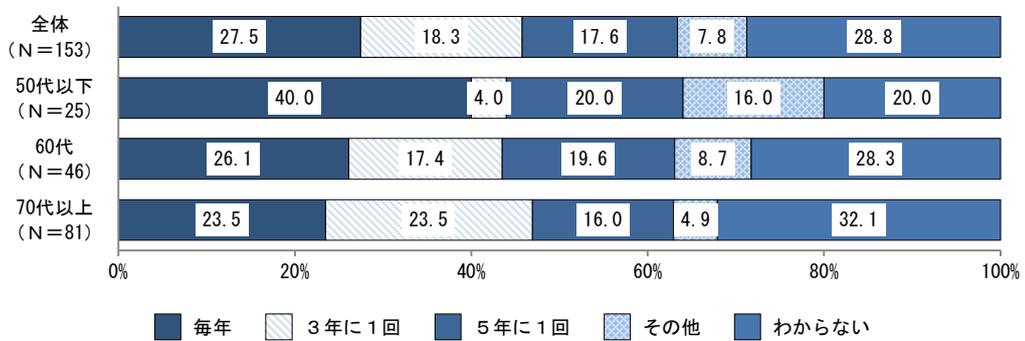
(1つだけ選択、回答者数=153、無回答除く)

■年齢別



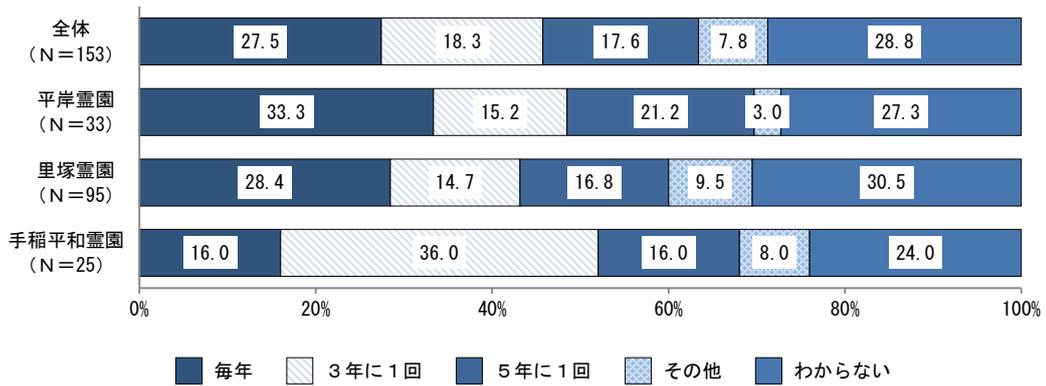
(1つだけ選択、無回答除く)

■世帯構成別



(1つだけ選択、回答者数が10人以下の世帯構成は表示せず、無回答除く)

■使用霊園別



(1つだけ選択、無回答除く)

4) 無縁墓撤去費用負担のあり方

問9 今後、無縁化してしまったお墓の撤去が必要となることが想定されますが、このお墓の撤去に係る費用負担についてのあなたの考えをお聞かせください。なお、お墓の撤去にかかる費用は1㎡あたり10万円くらいが目安です。(いくつかでも○をつけてください)

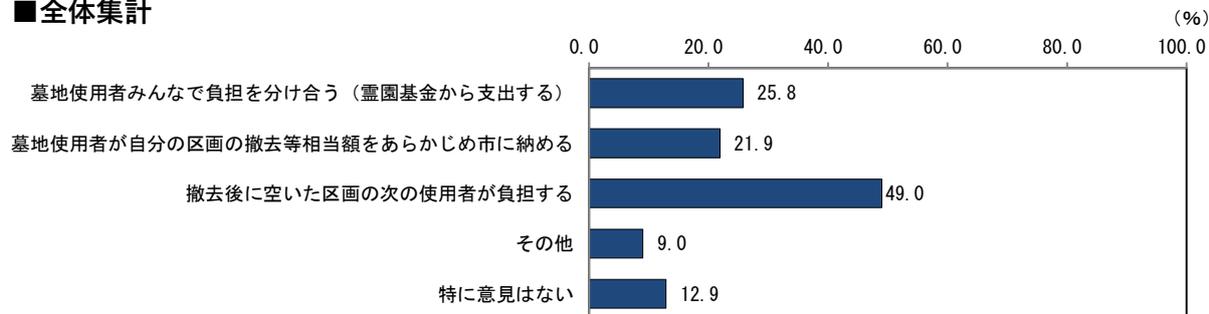
1. 墓地使用者みんなで負担を分け合う(霊園基金から支出する)
2. 墓地使用者が自分の区画の撤去等相当額をあらかじめ市に納める
3. 撤去後に空いた区画の次の使用者が負担する
4. その他()
5. 特に意見はない

※札幌市では令和3年3月末時点で使用者と連絡を取れない墓が約10,000区画あり、戸籍調査や看板設置により使用者の特定を進めていますが、令和5年7月時点でまだ約7,000区画ある状況です。

全体集計では、「撤去後に空いた区画の次の使用者が負担する」と約半数(49.0%)と回答した。以下、20ポイント以上の差で「墓地使用者みんなで負担を分け合う(霊園基金から支出する)」(25.8%)、「墓地使用者が自分の区画の撤去等相当額をあらかじめ市に納める」(21.9%)と僅差で続く。

属性別では、有意な差は見られなかった。

■全体集計



その他

- ・市の負担で行う(4件)
- ・市の一部負担
- ・永年使用権利者は一部市の負担とする
- ・墓地使用者が自分の区画の撤去等相当額をあらかじめ市に収めるのが原則で、不明時には墓地使用者みんなで負担を分け合うこととなる
- ・相続人が負担
- ・使用開始時に無縁化を前提に1㎡あたり10万円を徴収し、墓じまいの際に返金しては?
- ・今までの使用者負担
- ・公募で売買
- ・かなり先の話になると思うので考えられない
- ・2、3で半分ずつ
- ・1㎡あたりで使用者と次の使用者が5万円くらいで折半が良いと思う

(複数選択可、回答者数=155、無回答除く)

(6) 墓地使用权のあり方

1) 墓地の有期限更新制について

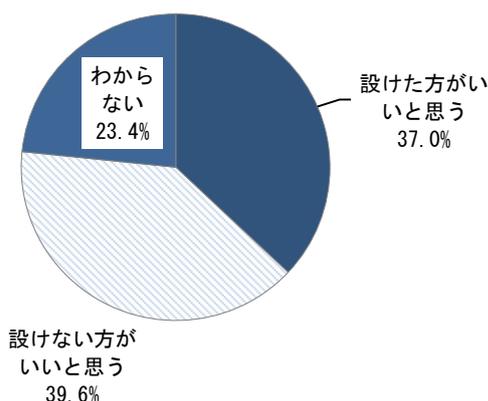
問 10 (1) あなたは、お墓の使用許可に有期限更新制を設けることについて、どう思いますか。
(1つだけ○をつけてください)

1. 設けた方がいいと思う ⇒問 10 (2) へ
2. 設けない方がいいと思う ⇒問 10 (3) へ
3. わからない ⇒問 11 (1) へ

全体集計では「設けない方がいいと思う」(39.6%)が「設けた方がいいと思う」(37.0%)を2.6ポイントという僅差で上回った。「わからない」との回答者も2割以上(23.4%)存在する。

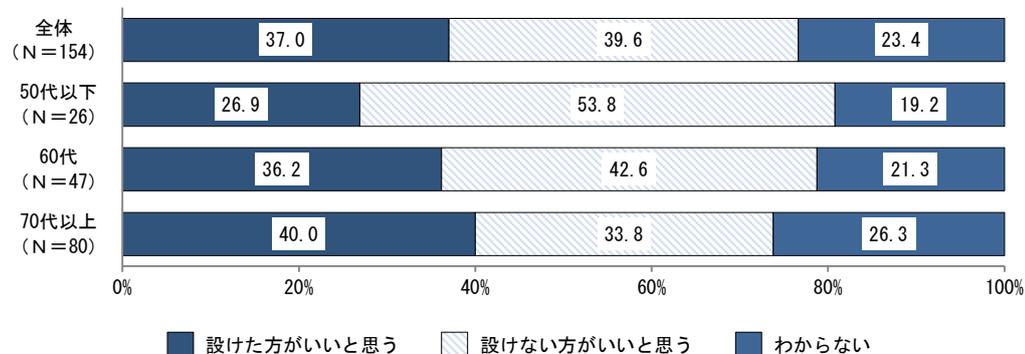
年齢別では、年齢が上がるほど「設けた方がいいと思う」の割合が上がり「設けない方がいいと思う」の割合が下がる傾向が見られた。結果、50代以下では「設けない方がいいと思う」が53.8%で「設けた方がいいと思う」を上回っているが、60代以上では「設けた方がいいと思う」が「設けない方がいいと思う」とほぼ同じ、あるいは上回る結果となっている。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=154、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

2) 墓地に有期限更新制を設けた方が良いと思う理由

≪問 10 (1) で「1. 設けた方が良いと思う」と回答した方にお聞きします≫

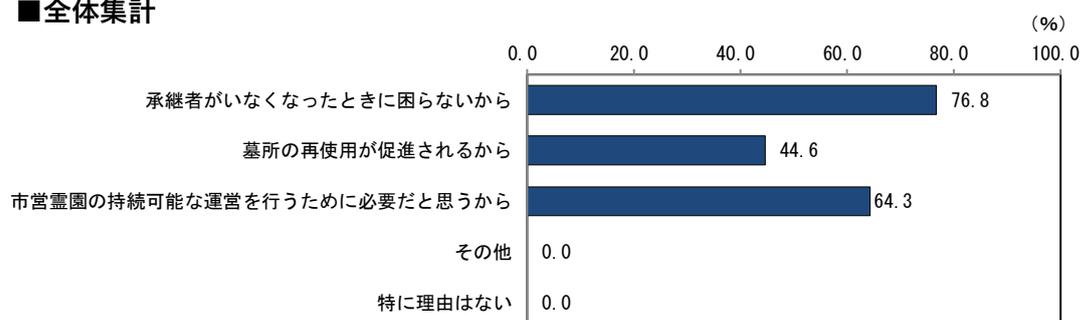
問 10 (2) あなたが、お墓の使用許可に有期限更新制を設けた方が良いと思った理由はなんですか。(いくつでも○をつけてください)

1. 承継者がいなくなったときに困らないから
2. 墓所の再使用が促進されるから
3. 市営霊園の持続可能な運営を行うために必要だと思うから
4. その他 ()
5. 特に理由はない

全体集計では「承継者がいなくなったときに困らないから」が最も多く 76.8%、以下「市営霊園の持続可能な運営を行うために必要だと思うから」(64.3%)、「墓所の再使用が促進されるから」(44.6%) と続く。

属性別では有意な差は見られなかった。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=56、無回答除く)

2) 墓地に有期限更新制を設けない方が良いと思う理由

「問 10 (2) で「2. 設けない方が良いと思う」と回答した方にお聞きます」

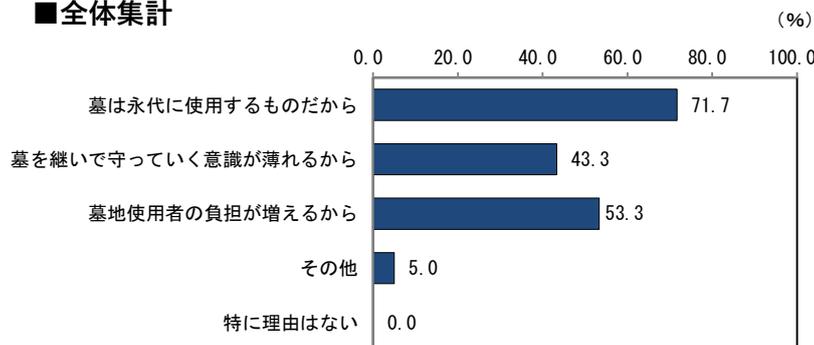
問 10 (3) あなたが、お墓の使用許可に有期限更新制を設けない方が良いと思った理由はなんですか、(いくつかでも○をつけてください)

1. 墓は永代に使用するものだから
2. 墓を継いで守っていく意識が薄れるから
3. 墓地使用者の負担が増えるから
4. その他 ()
5. 特に理由はない

全体集計では「墓は永代に使用するものだから」(71.7%)、「墓地使用者の負担が増えるから」(53.3%)、「墓を継いで守っていく意識が薄れるから」(43.3%)の順となった。

年齢別では、70代以上で「墓地使用者の負担が増えるから」が29.6%で、他の年齢層よりも低くなっていることが特徴的である。

■全体集計



その他

- ・元から期限なしなので借地したものだから
- ・今、墓を必要としない世代が増えています。期限を設けたら新規申し込みが減っていただけと思うから
- ・本来、年に1回以上は墓参りするもので、数年に1回しか来ない・来られないのは札幌近郊に住んでいないだろうし、メール等で連絡がつかないということは既に墓が札幌にあることを親族で知る人が居ないということだから、使用权を放棄したとみなしても問題ないと思う

(複数選択可、回答者数=60、無回答除く)

■年齢別

	も墓のは永代から使用する	く墓の意識継が薄で守るつから	増墓の地使用者の負担が	その他	特に理由はない
全体 (N=60)	71.7	43.3	53.3	5.0	-
50代以下 (N=14)	57.1	50.0	64.3	7.1	-
60代 (N=19)	73.7	47.4	78.9	5.3	-
70代以上 (N=27)	77.8	37.0	29.6	3.7	-

(複数選択可、無回答除く、単位は%)

(7) 墓地の承継

1) 墓地の承継についての意向

問 11 (1) 現在お使いのお墓について、あなたの将来のお考えについて教えてください。(1つだけ○をつけてください)

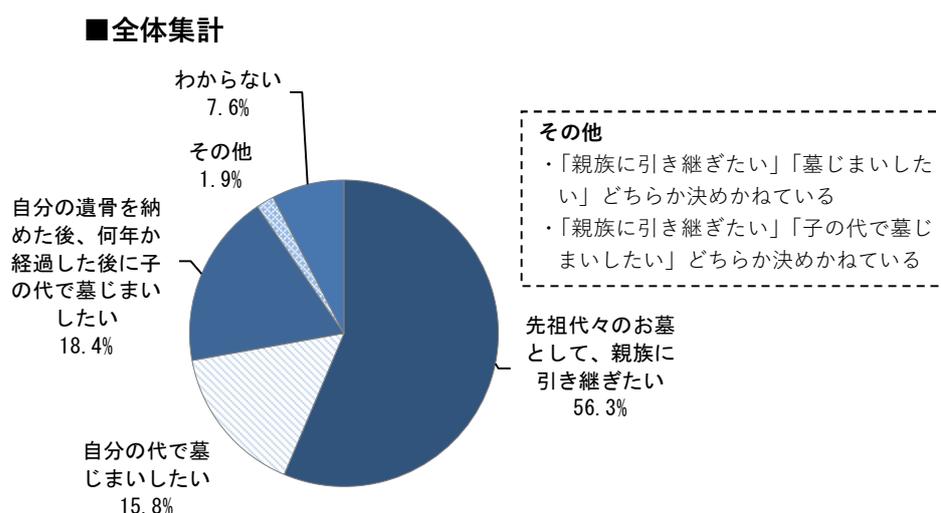
- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 1. 先祖代々のお墓として、親族に引き継ぎたい⇒問 12 へ | } ⇒問 11 (2) へ |
| 2. 自分の代で墓じまいしたい | |
| 3. 自分の遺骨を納めた後、何年か経過した後に子の代で墓じまいしたい | |
| 4. その他 () } ⇒問 12 へ | |
| 5. わからない | |

全体集計では「先祖代々のお墓として、親族に引き継ぎたい」と過半数(56.3%)の回答者が答えた。以下「自分の遺骨を納めた後、何年か経過した後に子の代で墓じまいしたい」(18.4%)、自分の代で墓じまいしたい」(15.8%)と続く。

年齢別では、50代では「自分の遺骨を納めた後、何年か経過した後に子の代で墓じまいしたい」はわずか3.8%だが、60代では14.9%、70代以上では25.0%まで増加していることが注目される。逆に「自分の代で墓じまいしたい」は50代で26.9%だが、70代以上では11.9%と大幅に低くなっている。

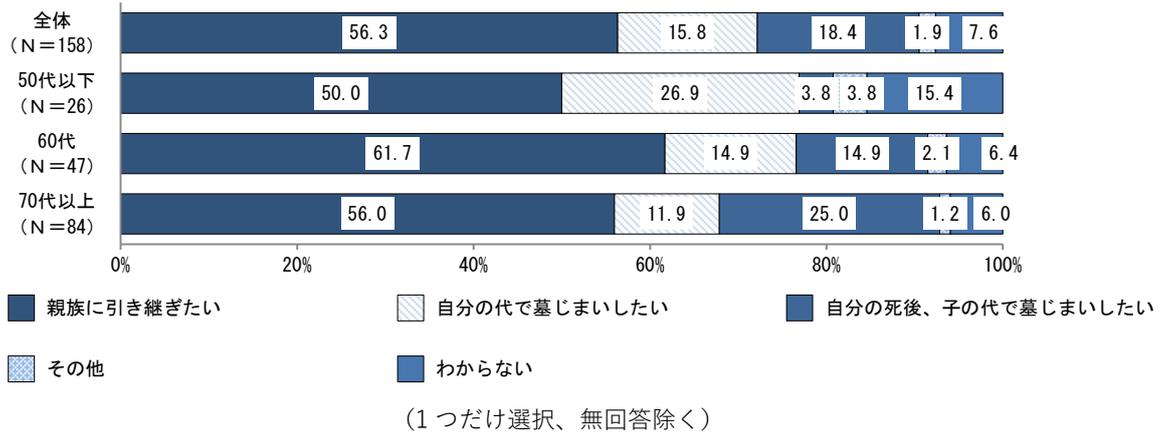
世代構成別では、単身世帯(一人暮らし)で「わからない」が14.3%である一方、夫婦と子世帯(自身と配偶者と子ども)では0%という差が見られた。

使用霊園別では、手稲平和霊園使用者で他の霊園利用者と比べて「自分の代で墓じまいしたい」が4.0%と少ないが、これは「手稲平和霊園を使用している」と回答した人に70代以上の人が多いためではないかと考えられる。

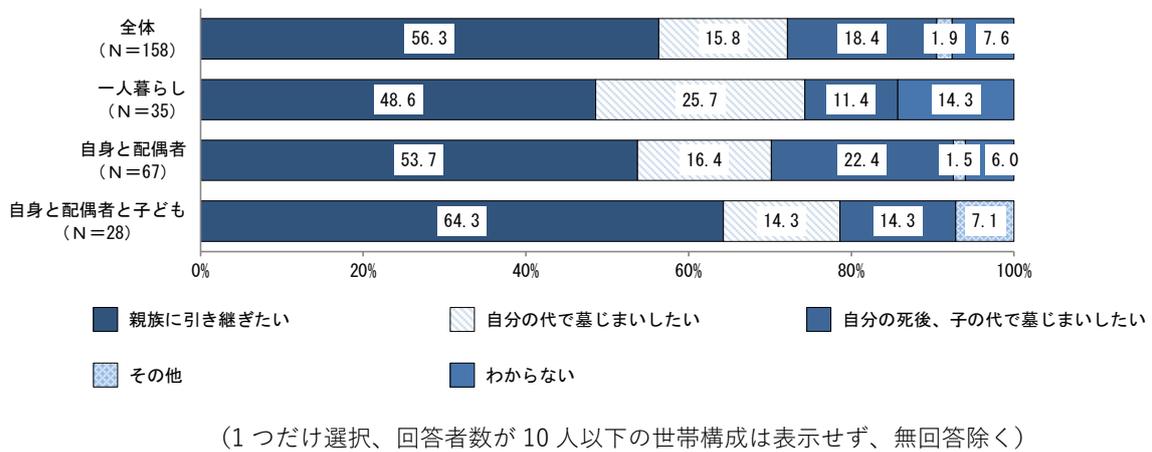


(1つだけ選択、回答者数=158、無回答除く)

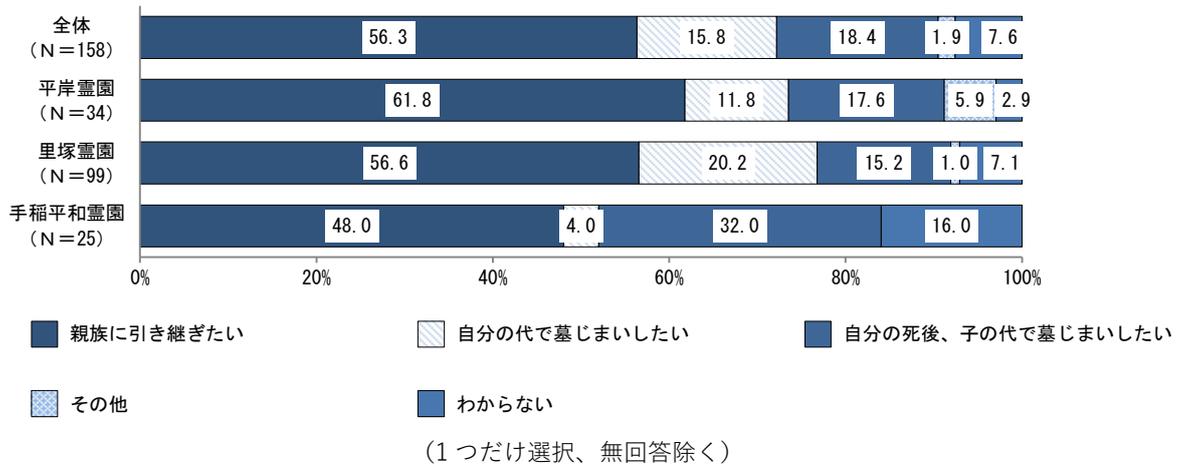
■年齢別



■世帯構成別



■使用霊園別



2) 墓じまいしたい理由

≪問 11 (1) で「2.自分の代で墓じまいしたい」又は「3. 自分の遺骨を納めた後、何年か経過した後に子の代で墓じまいしたい」と回答した方にお聞きします≫

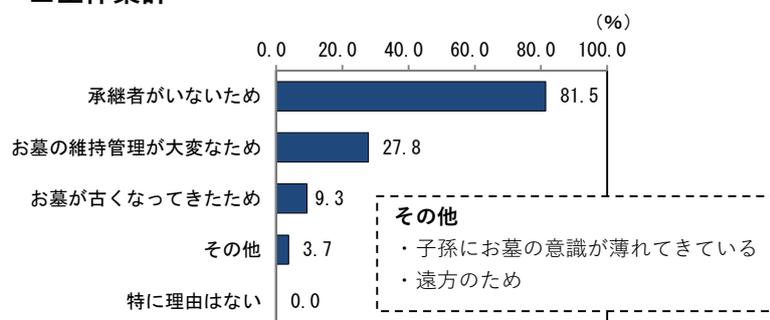
問 11 (2) あなたが墓じまいをしたい理由を教えてください。(いくつでも○をつけてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 承継者がいないため | 2. お墓の維持管理が大変なため |
| 3. お墓が古くなってきたため | 4. その他 () |
| 5. 特に理由はない | |

全体集計では「承継者がいないため」を8割以上(81.5%)の人が挙げている。お墓の維持管理が大変なため」が27.8%で次ぐ結果となった。

属性別では有意な差は見られなかった。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=54、無回答除く)

3) 墓地利用について心配なこと

「みなさまにお聞きます」

問 12 将来の墓地利用について、ご心配なことがございましたらご記入ください。

(回答者数=36 ※複数意見あり)

承継者の問題、無縁化 (16 件)

- ・無縁化すること (60 代女性など 4 件)
- ・承継者がいなくなる。負担金が増えると維持できなくなる。霊園の交通の便が悪く、行く頻度が減り、結果として墓の無縁化が進むこと (50 代男性)
- ・子どもが本州にいるため、見てくれるか心配 (60 代男性)
- ・自分には子どもがいないので、承継者について不安があります (60 代男性)
- ・信頼できる親族を探すのに苦労している (70 代以上男性)
- ・墓を継いで守ることが難しいです (70 代以上女性)
- ・承継者の若年化 (70 代以上男性)
- ・承継者の適任者 (相当者) の特定が難しい (60 代男性)
- ・現時点で承継者がはっきりしていない。早く決めなければと思っている (70 代以上男性)
- ・運営方法が変化した場合でも、継承者がいる限り使用できるのか? (70 代以上男性)
- ・死と墓は同じ問題で、承継する人が使用者として登録するシステムになっているので、親や親族が亡くなったら墓に埋葬する時に登録できるし、墓じまいするしかなくても (子がいない人) 5 年連絡が取れなかったら市に返還する等のルールを作っていく必要がある。そもそも子どものころから墓参りをしていない人は親も連れていっていないだろうし、どこに墓があるかも知らないなら、墓がなくても問題ないと思う人たちなので、トラブルは少ないと思う (40 代女性)
- ・私は嫁いだ身ですが、亡き父が持っていた権利書を受け継いでおります。母が亡くなったあと、権利書を遠い親戚に譲渡するつもりですが、複雑な思いです (50 代女性)
- ・お墓の承継についてでした (60 代男性)

費用 (5 件)

- ・母が亡くなり後継ぎがいないので、娘の私名義の墓にしました。今後墓じまいをしたいのですが、撤去費用がすごくかかり悩んでいる。私も 80 歳になる。今の生活で撤去は大変。市で半分くらい助成していただけたらと思う。このままでは墓をそのままにしまいそう (70 代以上女性)
- ・墓参り、掃除をやっているが、弟たちは何もしない。お金が一番大変。古くなるとどうしようと思っています (60 代女性)
- ・残された子どもたちにあまり費用負担がないように (60 代男性)
- ・使用料が発生すると現在の生活が出来なくなる (50 代男性)
- ・子どもの負担を少なくする (70 代以上男性)

墓じまい (5件)

- ・墓じまい、いつかしなければと思っている。その費用は？お骨の行き場は？ (70代以上男性)
- ・今は老人ホームに入居しており、娘に任せている。娘は墓じまいをしたいと言っている (70代以上女性)
- ・墓じまいについての知識がないこと。選択肢がどれくらいあるのか (60代男性)
- ・親族に引き継いで何年か経過した後に墓じまいを行い、市営の合同納骨堂に優先的に納骨されればと思っている (70代以上男性)
- ・自分の代では墓じまいしたいので、合同墓(無縁墓)を作ってほしい (70代以上男性)

運営・手続きに関する要望・意見 (3件)

- ・先祖の供養は意味のある、大切な行為だと思います。私は母方のお墓が平岸霊園にありますが、たまに墓参りしています。墓じまいしたい方や連絡を取れない方を除き、使用者が快く利用できるような運営を望みます (60代男性)
- ・子どもがいないため、甥に墓地を任せたいと思っています。その際の手続き方法について、現所有者に定期的に通知してはいかがでしょうか (60代男性)
- ・墓じまい前に所有者以外の連絡先を登録してはどうか (40代女性)

その他 (8件)

- ・市営霊園が将来でも存在するか不安 (60代男性)
- ・永い将来のことなので少し不安はあります (70代以上男性)
- ・やはり代々の、ということになると、負担が大きいです (60代男性)
- ・先祖代々安心して永眠したい (60代男性)
- ・先祖を敬う、先人を尊ぶ、お墓は大切なものと思います (70代以上男性)
- ・市の対応以外、家系的には問題はない (70代以上男性)
- ・なくなること (60代男性)
- ・今のままで良いと思います (70代以上男性)

(8) 終活について

1) 終活の取組状況

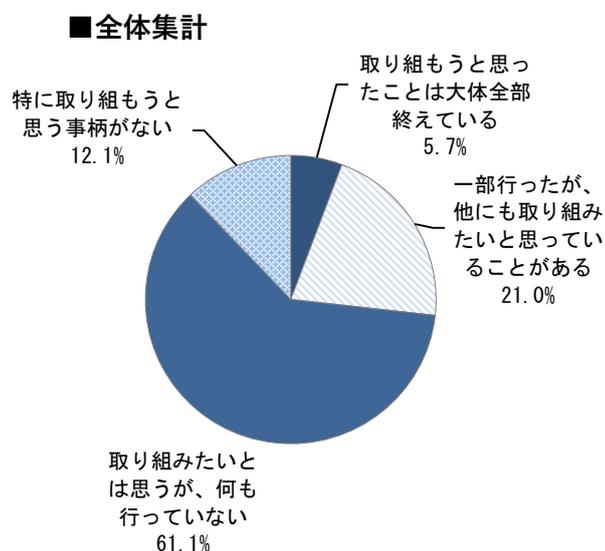
問 13 (1) あなたの終活に関する取組状況について、あてはまるものに○をつけてください。
(1つだけ○をつけてください)

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 取り組もうと思ったことは大体全部終えている | ⇒問 13 (3) へ |
| 2. 一部行ったが、他にも取り組みたいと思っていることがある | ⇒問 13 (3) へ |
| 3. 取り組みたいとは思いますが、何も行っていない | ⇒問 13 (2) へ |
| 4. 特に取り組もうと思う事柄がない | ⇒問 13 (3) へ |

全体集計では、「取り組みたいとは思いますが、何も行っていない」と6割以上(61.1%)が回答した。「一部行ったが、他にも取り組みたいと思っていることがある」は21.0%、「特に取り組もうと思う事柄がない」は12.1%、「取り組もうと思ったことは大体全部終えている」はわずか5.7%であった。

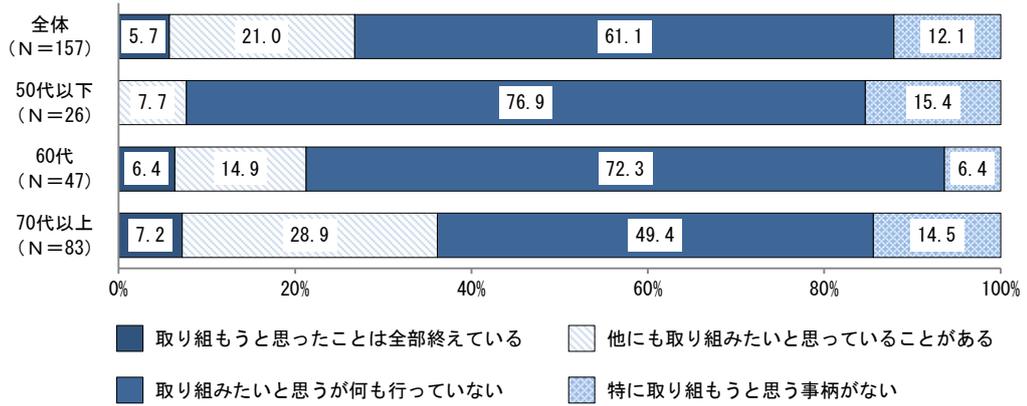
年齢別で見ると、何らかの取り組みを行った人(「取り組もうと思ったことは大体全部終えている」「一部行ったが、他にも取り組みたいと思っていることがある」回答者)の率は、50代以下では7.7%、60代では21.3%、70代以上では36.1%と、年齢が上がるにつれ多くなっている。逆に「取り組みたいとは思いますが、何も行っていない」は年齢が上がるにつれ減る傾向にある。

世帯構成別では、何らかの取り組みを行った人は単身世帯(一人暮らし)で26.4%、夫婦世帯(自身と配偶者)で29.9%だったが、三世帯世帯(自身と配偶者と子ども)では14.3%と低くなっている。



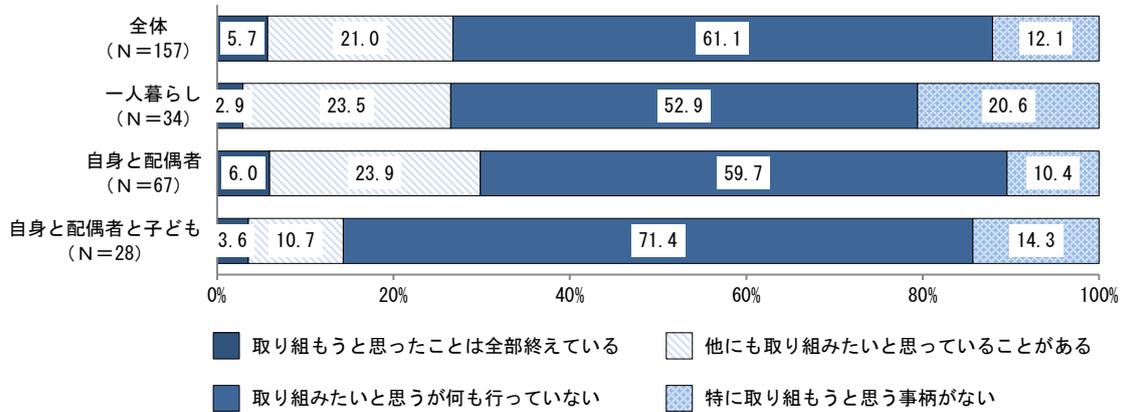
(1つだけ選択、回答者数=157、無回答除く)

■ 年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

■ 世帯構成別



(1つだけ選択、回答者数が10人以下の世帯構成は表示せず、無回答除く)

2) 終活を行っていない理由

「問 13 (1) で「3. 取り組みたいと思うが、何も行っていない」と答えた方にお聞きます。」

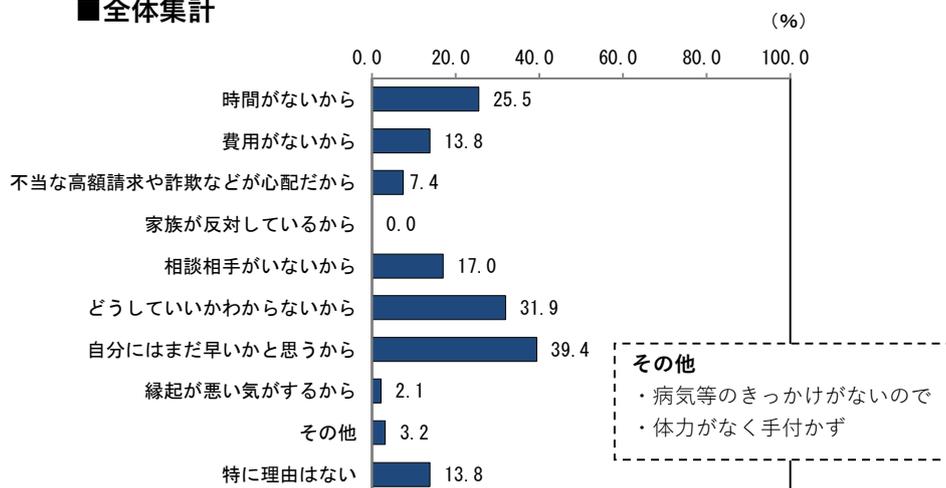
問 13 (2) その理由はなんですか。(いくつでも○をつけてください)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 時間がないから | 2. 費用がないから |
| 3. 不当な高額請求や詐欺などが心配だから | 4. 家族が反対しているから |
| 5. 相談相手がないから | 6. どうしていいかわからないから |
| 7. 自分にはまだ早いと思うから | 8. 縁起が悪い気がするから |
| 9. その他 () | 10. 特に理由はない |

全体集計では「自分にはまだ早いと思うから」(39.4%)、「どうしていいかわからないから」(31.9%)、「時間がないから」(25.5%)の順となっている。

年齢別では、年齢が高くなるほど「どうしていいかわからないから」が増加し「自分にはまだ早いと思うから」の比率が低くなる傾向が見られる。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=94、無回答除く)

■年齢別

	時間がないから	費用がないから	不当な高額請求や詐欺などが心配だから	家族が反対しているから	相談相手がないから	どうしていいかわからないから	自分にはまだ早いと思うから	縁起が悪い気がするから	その他	特に理由はない
全体 (N=94)	25.5	13.8	7.4	-	17.0	31.9	39.4	2.1	3.2	13.8
50代以下 (N=20)	30.0	5.0	5.0	-	15.0	20.0	55.0	-	-	20.0
60代 (N=33)	39.4	18.2	6.1	-	18.2	30.3	45.5	3.0	3.0	3.0
70代以上 (N=40)	12.5	15.0	10.0	-	17.5	37.5	25.0	2.5	5.0	20.0

(複数選択可、無回答除く、単位は%)

3) 終活に関する困りごと・不安

《みなさまにお聞きます》

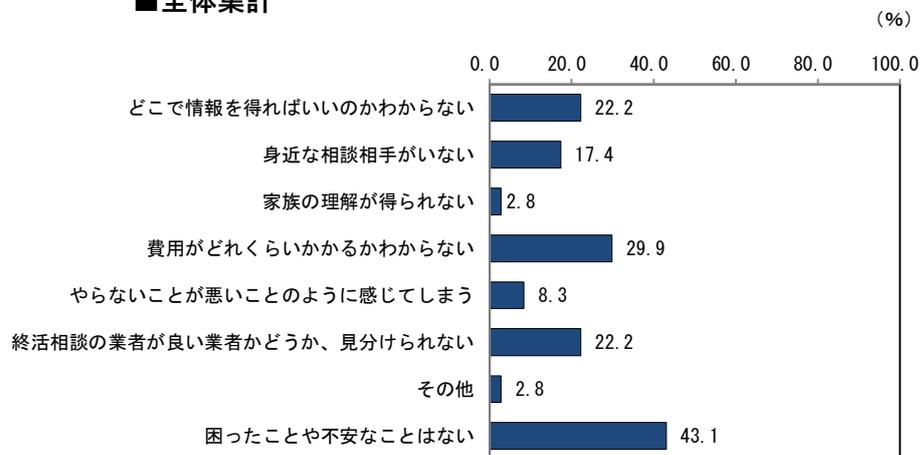
問 13 (3) あなたは、終活について、困ったことや不安なことはありますか。(いくつかでも○をつけてください)

1. どこで情報を得ればいいのかわからない
2. 身近な相談相手がない
3. 家族の理解が得られない
4. 費用がどれくらいかかるかわからない
5. やらないことが悪いことのように感じてしまう
6. 終活相談の業者が良い業者かどうか、見分けられない
7. その他 ()
8. 困ったことや不安なことはない

全体では「困ったことや不安なことはない」が最も多く4割を超えた(43.1%)。以下「費用がどれくらいかかるかわからない」(29.9%)、「どこで情報を得ればいいのかわからない」「終活相談の業者が良い業者かどうか、見分けられない」(同率22.2%)と続く。

世帯構成別で見ると、特に三世帯世帯(自身と配偶者と子ども)で他の類型よりも「身近な相談相手がない」が多く約3割(30.4%)が挙げていることが目立つ。

■全体集計



その他

- ・少々考えている
- ・少しずつやっているがいつ具合が悪くなるか心配
- ・具体的な終活はこれから考えます

(複数選択可、回答者数=144、無回答除く)

■世帯構成別

	どこで情報を得ればいいのかかわからない	身近な相談相手がない	家族の理解が得られない	費用がどれくらいかかるかわからない	やらないことが悪いことのように感じてしまう	終活相談の業者が良い業者かどうか、見分けられない	その他	困ったことや不安なことはない
全体 (N=144)	22.2	17.4	2.8	29.9	8.3	22.2	2.8	43.1
一人暮らし (N=33)	12.1	9.1	-	21.2	9.1	21.2	3.0	45.5
自身と配偶者 (N=61)	23.0	16.4	4.9	34.4	8.2	16.4	1.6	47.5
自身と配偶者と子ども (N=23)	26.1	30.4	-	26.1	8.7	26.1	-	43.5

(複数選択可、回答者数が10人以下の世帯構成は表示せず、無回答除く)

4) 終活に関する意見・要望

問 13 (4) 終活についてのご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

(回答者数=21)

相談窓口 (5件)

- ・公的な機関で相談できると安心です。ご検討ください (60代女性)
- ・区役所に窓口があると安心する (50代男性)
- ・市に何かしらアドバイスセンターがあると良い (60代男性)
- ・市の相談窓口がほしい (70代以上男性)
- ・墓じまいはむずかしい。様々な人が入っているので時期、費用など相談したい。まとめ役のコーディネーターがいれば (60代女性)

子への承継 (3件)

- ・子ども達には出来るだけ迷惑をかけないようにしたいと思います (60代男性など2件)
- ・男の子どもがいないので女の子だけです。どうすればよいでしょうか (70代以上男性)

話し合い (2件)

- ・日頃から家族と話し合うことが必要だと思う (40代女性)
- ・子ども達と話し合うことが大切 (60代男性)

終活への自信 (2件)

- ・現状では特に問題はないよう、常日頃整理整頓に心がけている (70代以上男性)
- ・自分の分相応範囲以内に収めるように用意している (70代以上男性)

広報・啓発 (1件)

- ・終活について市でセミナーがあればよいです (70代以上女性)

その他 (終活に関して) (5件)

- ・近い将来にはやらないと、と思いつつ楽観的に考えてしまう。実行しましょう (70代以上男性)
- ・終活終活と騒ぎすぎ。寿命は人それぞれであり運命であり (20代で死亡する人もたくさん見ている) 基本は人生明るく楽しくである (70代以上男性)
- ・アスペルガーの主人との終活はむずかしいです (60代女性)
- ・今は頭の中で考える時だと思っている (60代男性)
- ・運命と思い受け入れる (60代男性)

その他 (終活以外) (3件)

- ・死んでから30年~50年たったら、共同墓所に入れても良いと思う。墓を守る人がいなければ

仕方がない (60代女性)

- ・核家族化してしまった末路の今の世情と感じます。代々の家族のつながりをぶち切れてしまった自由の世界が今です。幸せならばいいのかな (70代以上女性)
- ・老人ホームに入居するには、質・料金等のレベルが分からない (70代以上男性)